

活動事例

小学校からの講師依頼対応

【内容】

戸田市立浜田小学校からの依頼により、第3学年の総合的な学習の時間において「納豆のひみつをさぐろう」と銘打った授業の講師を2日間（各1コマずつ）に渡り行いました。

授業の内容：①納豆を発酵させる温度をいろいろ変えたらどうなるのか

②添加する納豆菌量を減らしていくとどうなるのか

1日目：実際に小学生の前で納豆を仕込みながら、どうなるか予想を立ててもらおう

2日目：皆で観察と考察を行う



← 製造条件の違う納豆について糸引きや、硬さの違いをチェック中です。混ぜたり伸ばしたり、夢中になっています。



作った納豆を試食してもらおうと → 「醤油が欲しい」、「苦〜い」など率直な意見が…。小学生らしい感想です。

元気すぎるくらいワイワイと授業を受けていましたが、この授業の趣旨を含め、何かを感じ、地域の食品に興味を持ってくれればと思います。

このように、小学校からの依頼に応じて、地場食品に関する授業の講師等も行っております。これにより、当センターの活動を広く知っていただくことや、小中学生の技術体験、今まで接触の無かった企業への当センターの周知などにつながっております。

基礎となった事業 平成21年度 試験研究指導費

担当部門

食品バイオ部門 部門長 長谷川 裕正
地場食品部門 技師 久保 雄司

tel : 0296-72-0316

活動事例

Kawara Exhibition2009 の事業支援

【相手先】社団法人日本グラフィックデザイナー協会茨城、茨城県瓦工事業組合連合会、八郷瓦文化の会

【開発の経緯・支援内容】

グラフィックデザインの表現を広げたい要望と、屋根以外の用途を模索したい要望があり、当センターでコンセプトやターゲット・シーンの設定、展示設営の他、中小企業地域資源活用法の認定支援などコーディネートを行いました。展示は、日本のデザインハブ機能である東京ミッドタウンで開催されました。

*会期：2009年10月23日～11月3日（東京ミッドタウンデザインタッチ期間中、期間中の来場者100万人：東京ミッドタウン調べ）

*場所：東京ミッドタウン（ミッドタウン・ガーデン内水路）

*展示数：37点

*取材・記載メディア：茨城新聞10/22、屋根経済新聞10/24、マガジンハウス・カーサブルータス116号、ミッドタウン

広報誌・ウェブ、イベントガイド等



参加デザイナーの作品例



ガーデン内水路での水中展示



東京ミッドタウンでの展示

基礎となった事業 平成21年度 試験研究指導費

担当部門

工芸技術部門 部門長 佐藤 茂

tel : 0296-72-0316